

注3

大学番号：532

[平成20年度設置]

計画の区分：学部^{注1}の学科の設置

注1

認可

徳島文理大学 人間福祉学部 看護学科
(保健福祉学部)

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 村崎学園
平成23年5月1日現在

作成担当者

企画部

企画部長 カマダシンジョウ
鎌田真城

電話番号 088-622-0097

F A X 088-626-2998

e-mail kikaku1@tokushima.bunri-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

「意見伺い」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 村崎学園

(2) 大学名

徳島文理大学

(3) 大学の位置

〒770-8514

徳島県徳島市山城町西浜傍示180番地

〒770-8560

徳島県徳島市寺島本町東一丁目八番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(ムラサキ マサト) 村崎 正人 (平成元年5月)		
学長	(キリノ ユタカ) 桐野 豊 (平成18年4月)		
学部長	(イトウ ススム) 伊東 進 (平成19年4月)		
学科長等	(ヨシナガ スミコ) 吉永 純子 (平成20年4月)	(オオオカ ヒロコ) 大岡 裕子 (平成22年4月)	任期終了のため(22)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間福祉学部 (保健福祉学部) 看護学科 学士(看護学)	4年	80人	— 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80 (-) [-]	—	80 (-) [-]	—	80 (-) [-]	—	80 (-) [-]	—	1.22 倍	
志願者数	204 (-) [-]	— (-) [-]	289 (-) [-]	— (-) [-]	288 (-) [-]	— (-) [-]	326 (-) [-]	— (-) [-]		
受験者数	196 (-) [-]	— (-) [-]	282 (-) [-]	— (-) [-]	280 (-) [-]	— (-) [-]	321 (-) [-]	— (-) [-]		
合格者数	170 (-) [-]	— (-) [-]	220 (-) [-]	— (-) [-]	136 (-) [-]	— (-) [-]	162 (-) [-]	— (-) [-]		
B 入学者数	99 (-) [-]	— (-) [-]	118 (-) [-]	— (-) [-]	88 (-) [-]	— (-) [-]	88 (-) [-]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.23		1.47		1.10		1.10			

- (注) ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 99	[-] -	[-] 120	[-] -	[-] 88	[-] -	[-] 88	[-] -	平成20年度入学生のうち、3名が年度途中で退学。 上記退学者のうち、2名が平成21年4月1年次に復学。
2年次	/		[-] 96	[-] -	[-] 115	[-] -	[] 88	[-] -	
3年次			[-] 95	[-] -	[] 111	[-] -			
4年次			[] 93	[-] -					
計			[-] 99	[-] 216	[-] 298	[-] 380			

(注) ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
- ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [-] 3 人	(累積) 計 [-] 99 人	3.0%
	うち平成20年度入学者 3 人	うち平成20年度 99 人	
	(主な退学理由) ・家庭の事情 1人 ・進路変更 2人		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [-] 6 人	(累積) 計 [-] 216 人	2.8%
	うち平成20年度入学者 1 人	うち平成20年度 98 人	
	うち平成21年度入学者 5 人	うち平成21年度 118 人	
(主な退学理由) ・除籍(家庭の事情) 1人 ・家庭の事情 2人 ・進路変更 2人 ・転学部(短期大学部保育学科) 1人			
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [-] 6 人	(累積) 計 [-] 298 人	2.0%
	うち平成20年度入学者 2 人	うち平成20年度 97 人	
	うち平成21年度入学者 4 人	うち平成21年度 113 人	
うち平成22年度入学者 0 人	うち平成22年度 88 人		
(主な退学理由) ・家庭の事情 2人 ・学力不足 1人 ・進路変更 1人 ・転学部(総合政策学部) 1人 ・転学部(短期大学部保育学科) 1人			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年月前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人間福祉学部(保健福祉学部) 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般科目	倫理学A	1・2後		2								
	文学A	1・2後		2								
	歴史学A	1・2後		2								
	音楽A	1・2後		2								
	美術A	1・2前		2								
	法学A	1・2前		2								
	心理学A	1・2前		2								
	社会学A	1・2後		2								
	教育学A	1・2前		2								
	経済学A	後 1・2前		2								
	情報処理	1・2前		2								
	数学A	前 1・2後		2								
	物理学A	1・2後		2								
	化学A	1・2前		2		1						
	応用生物学A	1・2前		2		1						
	健康スポーツA 体育→スポーツA	1・2前		1 2								名称変更・単位数変更(21)
	健康スポーツB 体育→スポーツB	1・2後		1 2								同上(21)
	英語A① 英語A	1・2前		1 2								セメスター制対応のため、名称変更・科目分割(21)
	英語A②	1・2後		1								
	英語B① 英語B	1・2前		1 2								同上(21)
	英語B②	1・2後		1								
	英語C① 英語C	1・2前		1 2								同上(21)
	英語C②	1・2後		1								
	英語D① 英語D	1・2前		1 2								同上(21)
	英語D②	1・2後		1								
	独語A① 独語A	1・2前		1 2								内容充実のため、名称変更(20) セメスター制対応のため、名称変更・科目分割(21)
	独語A②	1・2後		1								
	仏語A① 仏語A	1・2前		1 2								同上(20) 同上(21)
	仏語A②	1・2後		1								
	伊語A① 伊語A	1・2前		1 2								同上(20) 同上(21)
	伊語A②	1・2後		1								

授業科目の名称		配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般科目	外国語総合科目A①	未開講		1							科目を追加(20) 同上(21) 履修希望者がなかったため、未開講(22)
	外国語総合科目A-	1-2前		2							
	外国語総合科目A②	未開講		1							
	総合科目	1-2後	1								
専門科目	形態機能論Ⅰ(呼吸・循環器官系)	1前	2			1					
	形態機能論Ⅱ(神経・生殖器官系)	1前	1			1					
	形態機能論Ⅲ(消化・内分泌器官系)	1後	2			1					
	形態機能論Ⅳ(運動・感覚器官系)	1後	1			1					
	病理学	後 1前	1			1					
	感染学	1 -2前	1			1					
	疾病論Ⅰ(呼吸・循環器官系疾病)	後 1前	2			1					
	疾病論Ⅱ(神経・生殖器官系疾病)	2 -1前	1			1					
	疾病論Ⅲ(消化・内分泌器官系疾病)	前 2後	2			1					
	疾病論Ⅳ(運動・感覚器官系疾病)	2後	1			1					
	生化学	1前	1								
	薬理学	2後	1			1					
	栄養学	1 -2前	1								
	免疫学	1前 -2後	1			1					
	公衆衛生学	前 1後	2			1					
	情報処理・統計学	1 -2前	1								
	保健福祉行政概論	2前	2								
	学校健康保健論	1後 -2前	1								
	産業健康保健論	1後 -2前	1								
	情報処理・統計学演習	前 2後		1							
ボランティア活動論	1後		1								
看護学概論Ⅰ(総論)	1前	2			1	1					

授業科目の名称		配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目	看護学概論Ⅱ(健康概念)	後 2前	1			+	1					
	看護技術Ⅰ(診断)	1後	1					+				
	看護技術Ⅱ(内科的治療)	2前	1					+				
	看護技術Ⅲ(外科的治療)	後 2前	1			+						
	看護理論	1後	1			1						
	看護過程論	後 1前	1			+	1					
	ヘルスアセスメント論	2前	1					+				
	看護栄養管理論	3後		1		+						
	援助の人間関係論	2後	1					+				
	基礎看護学実習Ⅰ(触れ合い)	1前	1			+		+			5	
	基礎看護学実習Ⅱ(援助)	2後	2			+		+			5	
	在宅看護学概論	3後 1後	2			1 +						
	在宅看護援助論	3後	2			1		+				
	在宅看護学実習	4前	2			2 +		+			1	
	地域看護学概論	1後	2			1						
	地域看護援助論	3後	2			1		+				
	ケアマネジメント論	3後		2								
	ケアシステム論	前 4後		2								
	家族看護論	3後 4後	2			1						
	地域看護学実習	4前	4			1		+			1	
	精神看護学概論	2前	2					+				
	精神衛生保健論	2後	2					+				
	精神看護学実習	3前	2					+	2 +		1	
	成人看護学概論	後 1前	2			2 +						
	急性期看護援助論	前 2後	2			2 +						
	慢性期看護援助論	2前	2			3 2 +						
周手術期ケア論	3 2後		1				+					
急性期看護学実習	3前	2			2 +		+	+		3		

授業科目の名称		配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目	慢性期看護学実習	3前	4			3 2 1			1	1	3	
	高齢者看護学概論	1後	2			2 1						
	高齢者看護援助論	後 2前	2			2 1			1			
	高齢者看護学実習	3前	4			3 2 1			1	1	3	
	母性看護学概論	1後	2						1			
	母性看護援助論	2前	2						1			
	母性看護学実習	3前	2				1	2	1	1		
	助産学総論	前 2後	1				1					
	周産期ケア論	3後		2					1			
	助産診断技術学Ⅰ(妊娠期)	2後		2					1			
	助産診断技術学Ⅱ(分娩・産褥期)	3後		2					1			
	助産管理学	3 4後		1			1					
	助産学実習	4後		10			1	2	1	1		
	小児看護学概論	1後	2			1						
	小児看護援助論	前 2後	2						1			
	小児ケア論	後 2前		1					1			
	母児保健関係論	2後		1					1			
	小児看護学実習	3前	2						1	1	1	
	看護システム論	2前	2					1				
	看護サービス論	前 4後	1					1				
看護政策論	3後		1				1					
看護教育論	2前		2									
リスクマネジメント	前 4後	1			1							
看護管理実習	4前	1			1	1		1	5			
看護倫理学	1前	1			1							
臨床看護実践演習	4通	4			5 4	2	3 5 6 5	2				
臨床心理概論	前 4後		1									
臨床薬理学	前 4後		1		1							
在宅医療論	4前		1									

授業科目の名称		配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目目	チーム医療論	3後	1									
	がん看護論	前4後		1		1						
	糖尿病看護論	前4後		1		2						
	医療経済論	後2前		1			1					
	国際看護活動論	2後		1			1					
	救急救命看護論	3-4後		1		1						
	健康管理概論	4前		1								
	看護研究セミナーⅠ	3後	2			5 4	1			3 5 6 5		
	看護研究セミナーⅡ	4通	3			5 4	1			3 5 6 5		
関連分野	養護概説	1前		2								養護教諭1種免許状取得のため、科目を追加(21)
	健康相談活動	1後		2								同上(21)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
65	48	0	113	65	59	0	124	
				[0]	[11]	[0]	[11]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
該当なし						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，（1）「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
該当なし						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし						
------	--	--	--	--	--	--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

7 その他全般的事項

<人間福祉学部(保健福祉学部) 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 看護学科FD委員会を組織した。学科長を委員長とし、3名で構成する。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 看護学科FD委員会を月1回程度開催・ 参加委員3名 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 授業の相互参観計画・ ポートフォリオの活用・ 授業評価の活用 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ 相互参観による研究授業及び授業研究会実施・ 学生による授業評価の研究・ 各科目の授業内容の精選を目的とした研究・ ポートフォリオ(学習ポートフォリオ)の研究・ その他 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・ 授業の相互参観を年間1人1回実施する。・ 相互参観の後、授業研究会を実施する。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 看護学科教員17名参加 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 学生による評価をもとに、教員の「ふりかえり表」を作成し、学生に開示する。・ 授業の相互参観により、授業方法改善の確認(例:配付資料の工夫、教授技術、授業の目標の明確化等)

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・ 「基礎看護学実習Ⅰ(触れ合い)」(平成22年度実施)の総括(別添資料9)
- ・ 「基礎看護学実習Ⅱ(援助)」(平成22年度実施)の総括(別添資料10)
- ・ 「精神看護学実習」(平成22年度実施)の総括(別添資料11)
- ・ 「慢性期看護学実習」(平成22年度実施)の総括(別添資料12)
- ・ 「高齢者看護学実習」(平成22年度実施)の総括(別添資料13)
- ・ 「母性看護学実習」(平成22年度実施)の総括(別添資料14)
- ・ 「小児看護学実習」(平成22年度実施)の総括(別添資料15)
- ・ 「急性期看護学実習」(平成22年度実施)の総括(別添資料16)
- ・ 平成21年度の教育・研究活動の成果の概要をまとめ、「教育・研究年報－2009年－」を発行する。(別添資料17)
- ・ 平成22年度の教育・研究活動の成果の概要をまとめ、「教育・研究年報－2010年－」を発行する予定で、学部編集委員会で編集中である。
- ・ 学生が実施した各科目担当者に対する授業評価を、科目担当者が考察し、自分自身を振り返るとともに、学生観にも役立て、以後の授業に反映するようにした。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・ 平成23年9月発刊予定

b 公表方法

- ・ 刊行物として発行

③ 認証評価を受ける計画

平成22年11月24日～26日、財団法人日本高等教育評価機構による評価を受審した。(別添資料18)

1. 評価の結果

【判定】

「評価の結果、徳島文理大学は、日本高等教育評価機構が定める大学評価規準を満たしていると認定する。」

【認定期間】

平成22(2010)年4月1日から平成29(2017)年3月31日までとする。

【条件】

「特になし。」

2. 次回の計画

未定。教育研究の質の向上をめざし、広く社会の支持が得られるよう教育研究活動に努めたい。

(注) ・ 設置認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成23年度中)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.bunri-u.ac.jp/about/pub-info/>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。